



あなたの、いちばんであるために。

# やましん

山梨信用金庫経営企画部

〒400-0032 甲府市中央 1-12-36

TEL 055-225-0213

ホームページアドレス

<https://www.yamasin.jp/>

## 中小企業景況レポート 2025 年 7～9 月期 No.71

2025.10.15 発刊

### ■ 調査要領 ■

- 調査対象  
当金庫営業エリア内の取引先中小企業 120社
- 調査時期・期間  
調査時期：2025年9月1日～5日  
調査期間：今期実績 2025年7月～9月  
来期見通し 2025年10月～12月
- 調査方法  
当金庫職員による訪問聞き取り調査
- 分析方法  
D I を中心に分析
- 特別調査  
「不透明感が増す経済社会情勢と中小企業経営」

### ■ 調査対象と回答状況 ■

| 業 種     | 企 業 数 | 回 答 数 | 回 答 率  |
|---------|-------|-------|--------|
| 製 造 業   | 28    | 25    | 89.3%  |
| 卸 売 業   | 15    | 15    | 100.0% |
| 小 売 業   | 17    | 17    | 100.0% |
| サービス業   | 26    | 24    | 92.3%  |
| 建 設 業   | 23    | 21    | 91.3%  |
| 不 動 産 業 | 11    | 10    | 90.9%  |
| 合 計     | 120   | 112   | 93.3%  |

### ※ D I (Diffusion Index) とは

各質問事項で「良い（増加）」とした企業割合－「悪い（減少）」とした企業割合の構成比との差（判断 DI）による分析です。例えば、回答が以下のような場合の DI の算出方法は、次のとおりです。

（例）「良い・やや良い」の回答が50%、「変わらず」の回答が30%、「悪い・やや悪い」の回答が20%の場合

DI は50「良い・やや良い」－20「悪い・やや悪い」＝ +30となります。DI 値が高いほど景気が良いことを示しています。

### 業 況 判 断 D I

| 業 種   | 前 期   | 今期実績 |      |       | 来期見通し |      |       |
|-------|-------|------|------|-------|-------|------|-------|
|       |       | 良い   | 悪い   | D I   | 良い    | 悪い   | D I   |
| 総 合   | ▲10.4 | 20.5 | 32.1 | ▲11.6 | 15.1  | 25.0 | ▲9.9  |
| 製 造 業 | ▲46.2 | 20.0 | 48.0 | ▲28.0 | 12.0  | 36.0 | ▲24.0 |
| 卸 売 業 | 0.0   | 6.6  | 46.6 | ▲40.0 | 13.3  | 13.3 | 0.0   |
| 小 売 業 | ▲17.7 | 17.6 | 29.4 | ▲11.8 | 23.5  | 17.6 | 5.9   |
| サービス業 | 11.5  | 25.0 | 20.8 | 4.2   | 12.5  | 16.6 | ▲4.1  |
| 建 設 業 | 9.5   | 19.0 | 23.8 | ▲4.8  | 14.2  | 33.3 | ▲19.1 |
| 不動産業  | ▲18.1 | 40.0 | 20.0 | 20.0  | 20.0  | 30.0 | ▲10.0 |

### 業 種 別 景 気 天 気 図

| 業 種   | 前 期 | 今 期 | 見 通 し |
|-------|-----|-----|-------|
| 総 合   |     |     |       |
| 製 造 業 |     |     |       |
| 卸 売 業 |     |     |       |
| 小 売 業 |     |     |       |
| サービス業 |     |     |       |
| 建 設 業 |     |     |       |
| 不動産業  |     |     |       |

※本レポートは、標記時点における情報提供を目的としています。また、掲載資料は、

正確性・完全性を保証するものではありません。

※回答数：国中地区63社、東部地区31社、相模原周辺地区18社

| 31以上 | 11～30 | 10～▲10 | ▲11～▲30 | ▲31以下 |
|------|-------|--------|---------|-------|
|      |       |        |         |       |

# 概 況

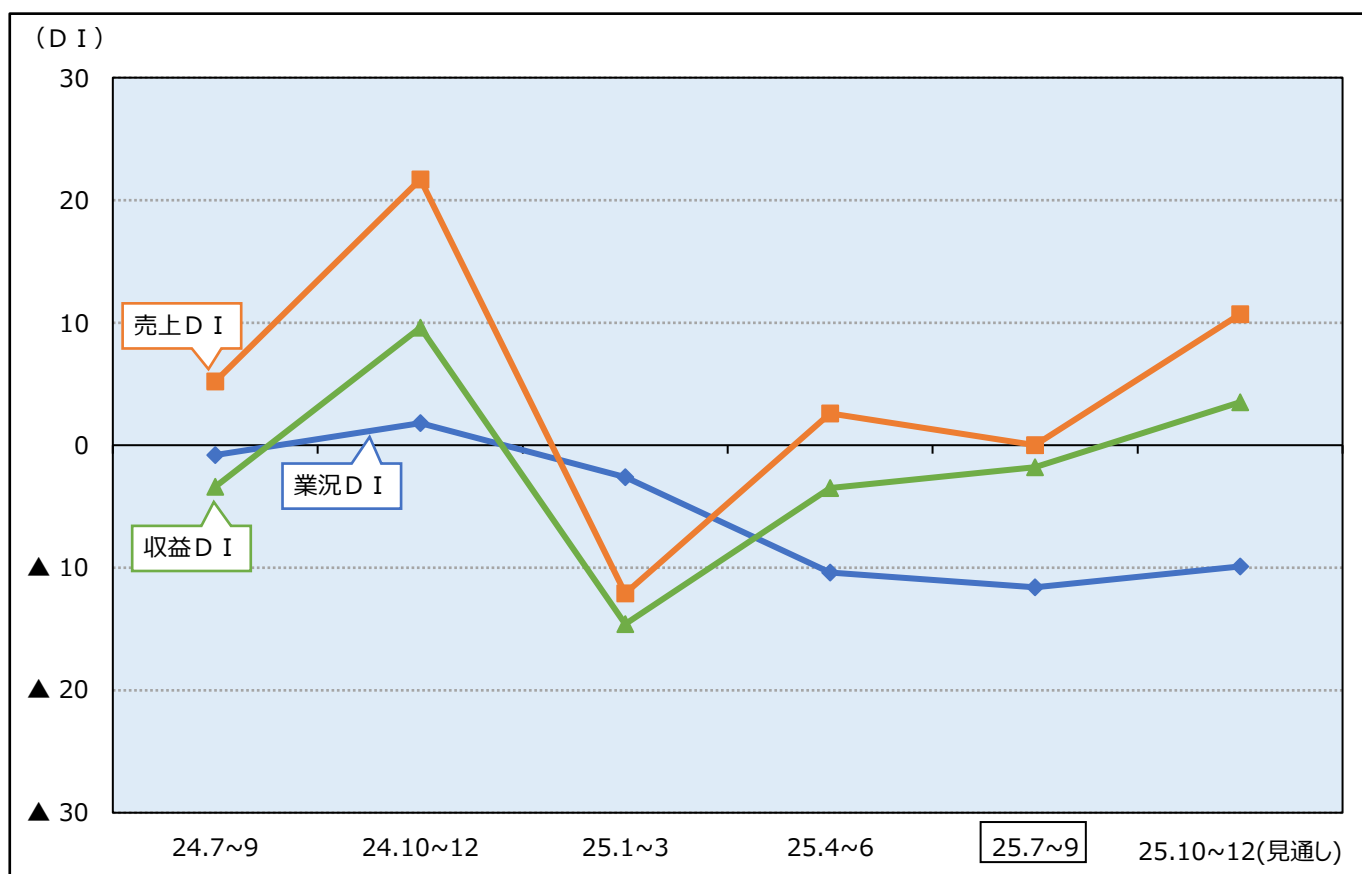
## <業況・売上・収益>

今期（7～9月、以下同じ。）のD Iをみると、業況D Iは前期（4～6月、以下同じ。）▲10.4から▲11.6と、1.2ポイント悪化（前年同期比10.8ポイント悪化）しました。売上D Iは同2.6から0.0と、2.6ポイント悪化（同比5.2ポイント悪化）、収益D Iは同▲3.5から▲1.8と、1.7ポイント改善（同比1.6ポイント改善）しました。

来期（10～12月、以下同じ。）をみると、業況D Iは▲11.6から▲9.9と、今期実績比1.7ポイント改善の見通しとなりました。売上D Iは同0.0から10.7と、同比10.7ポイント改善、収益D Iは同▲1.8から3.5と、同比5.3ポイント改善の見通しとなりました。

## ■ 業況・売上・収益D Iの時系列推移 ■

|         | 24.7～9 | 24.10～12 | 25.1～3 | 25.4～6 | 25.7～9 | 25.10～12 見通し |
|---------|--------|----------|--------|--------|--------|--------------|
| 業 況 D I | ▲0.8   | 1.8      | ▲2.6   | ▲10.4  | ▲11.6  | ▲9.9         |
| 売 上 D I | 5.2    | 21.7     | ▲12.1  | 2.6    | 0.0    | 10.7         |
| 収 益 D I | ▲3.4   | 9.6      | ▲14.6  | ▲3.5   | ▲1.8   | 3.5          |

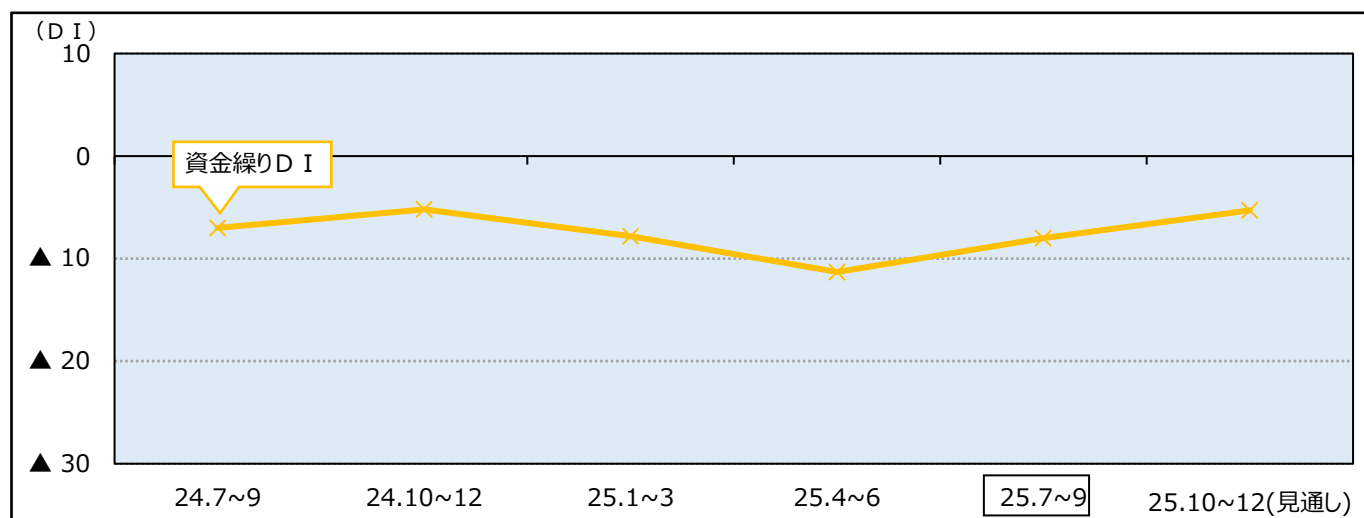


## <資金繰り>

今期の資金繰りD Iは前期▲11.3から▲8.0と、3.3ポイント改善（前年同期比1.0ポイント悪化）しました。また、来期は▲5.3と、今期実績比2.7ポイント改善の見通しとなりました。

### ■ 資金繰りD Iの時系列推移 ■

|             | 24.7～9 | 24.10～12 | 25.1～3 | 25.4～6 | 25.7～9 | 25.10～12 見通し |
|-------------|--------|----------|--------|--------|--------|--------------|
| 資 金 繰 り D I | ▲7.0   | ▲5.2     | ▲7.8   | ▲11.3  | ▲8.0   | ▲5.3         |



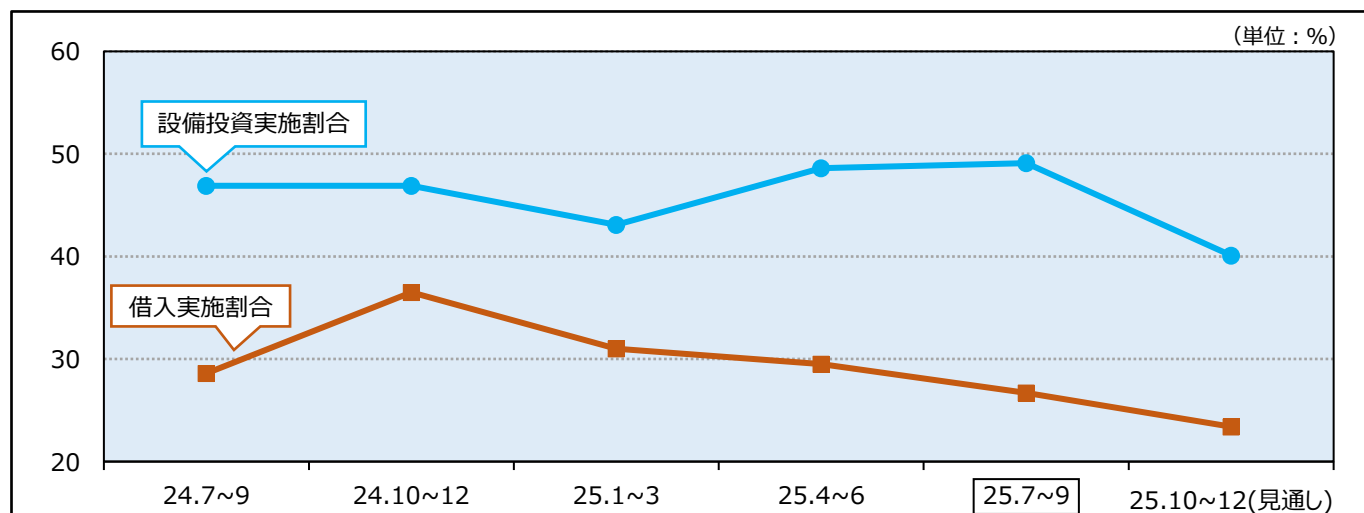
## <設備投資・借入動向>

今期の不動産業を除いた設備投資実施企業割合は、前期48.6%から49.1%と、前期比0.5ポイント上昇（前年同期比2.2ポイント上昇）となりました。また、来期は40.1%と、今期実績比9.0ポイントの低下が見込まれます。

全業種総合の借入実施企業割合は、前期29.5%から26.7%と、前期比2.8ポイント低下（前年同期比1.9ポイント低下）しました。また、来期は23.4%と、今期実績比3.3ポイントの低下が見込まれます。

### ■ 設備投資・借入実施動向の時系列推移 ■

|             | 24.7～9 | 24.10～12 | 25.1～3 | 25.4～6 | 25.7～9 | 25.10～12 見通し |
|-------------|--------|----------|--------|--------|--------|--------------|
| 設備投資実施割合    | 46.9%  | 46.9%    | 43.1%  | 48.6%  | 49.1%  | 40.1%        |
| 借 入 実 施 割 合 | 28.6%  | 36.5%    | 31.0%  | 29.5%  | 26.7%  | 23.4%        |



# 製造業

## ■ 主要D Iの推移 ■

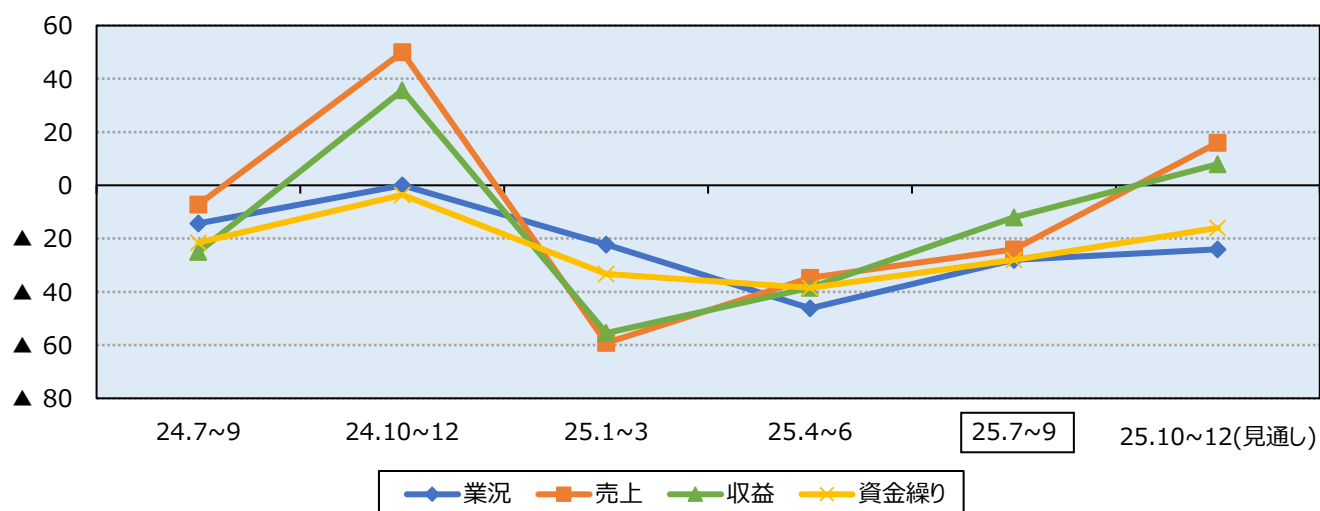
|         | 前年同期  | 前期    | 今期    | 来期    |
|---------|-------|-------|-------|-------|
| 業 況     | ▲14.3 | ▲46.2 | ▲28.0 | ▲24.0 |
| 売 上     | ▲7.2  | ▲34.7 | ▲24.0 | 16.0  |
| 収 益     | ▲25.0 | ▲38.5 | ▲12.0 | 8.0   |
| 資 金 繰 り | ▲21.5 | ▲38.5 | ▲28.0 | ▲16.0 |

### 【今期】

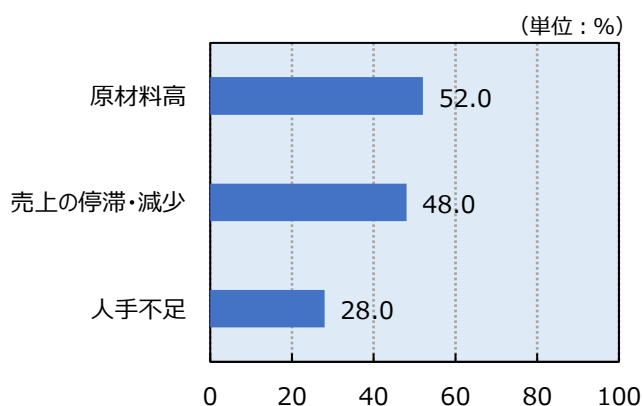
前期比で、すべてのD I が改善しました。前年同期比では、収益D Iを除いて悪化しました。

### 【来期】

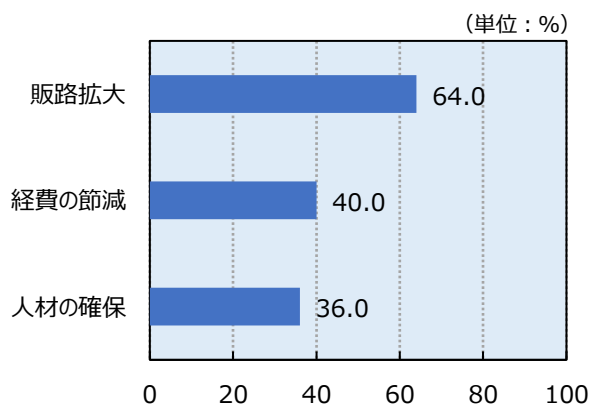
今期実績比で、すべてのD I が改善の見通しとなりました。



## ■ 経営上の問題点 ■



## ■ 当面の重点経営施策 ■



### 【調査員のコメント】

○受注は安定しているが、物価上昇により経費面は厳しい状況にある。(物流運搬設備)

○専門家派遣事業等の外部機関の活用を希望している。(制御盤装置・機器ケーブル)

# 卸売業

## ■ 主要D Iの推移 ■

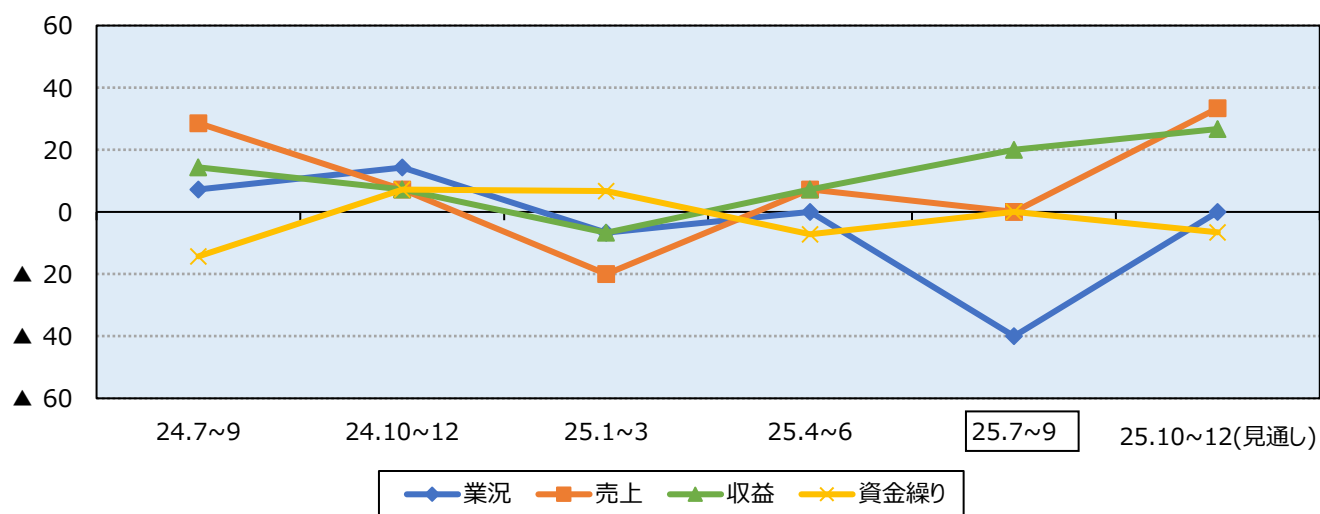
|         | 前年同期  | 前期   | 今期    | 来期   |
|---------|-------|------|-------|------|
| 業 況     | 7.2   | 0.0  | ▲40.0 | 0.0  |
| 売 上     | 28.6  | 7.2  | 0.0   | 33.4 |
| 収 益     | 14.3  | 7.2  | 20.0  | 26.7 |
| 資 金 繰 り | ▲14.3 | ▲7.2 | 0.0   | ▲6.6 |

### 【今期】

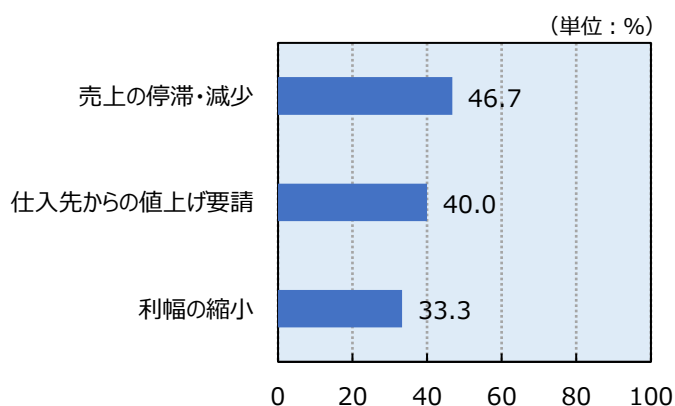
前期比および前年同期比で、業況D Iと売上D Iが悪化、収益D Iと資金繰りD Iが改善しました。

### 【来期】

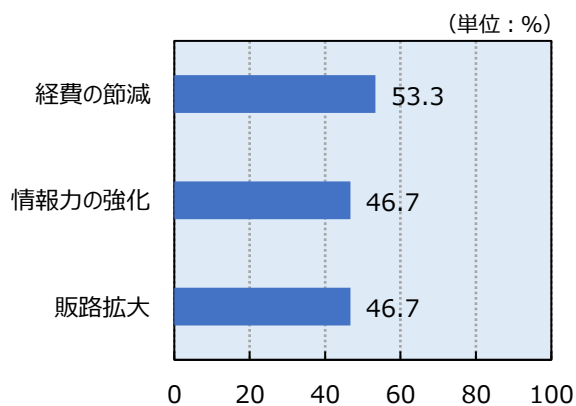
今期実績比で、資金繰りD Iを除いて改善の見通しとなりました。



## ■ 経営上の問題点 ■



## ■ 当面の重点経営施策 ■



### 【調査員のコメント】

○社員の高齢化が進む中、人材育成が課題となっている。(計測器・試験研究機器)

○中国経済の減速懸念の影響により、今期に続いて来期も売上の減少が予想される。(食肉)

# 小 売 業

## ■ 主要D Iの推移 ■

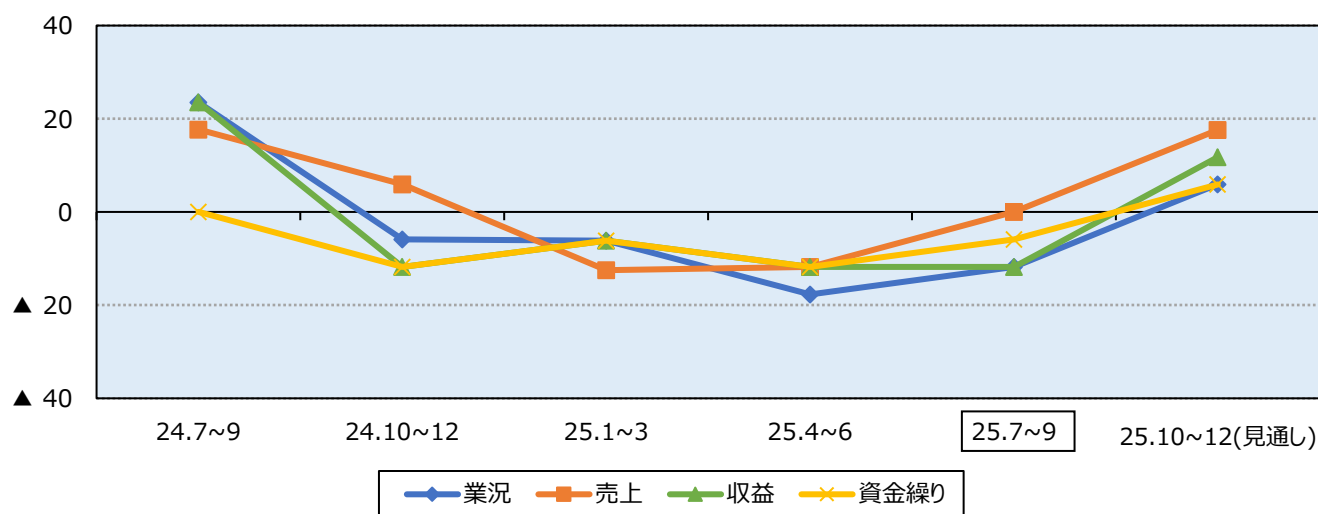
|         | 前年同期 | 前期    | 今期    | 来期   |
|---------|------|-------|-------|------|
| 業 況     | 23.5 | ▲17.7 | ▲11.8 | 5.9  |
| 売 上     | 17.7 | ▲11.8 | 0.0   | 17.6 |
| 収 益     | 23.5 | ▲11.8 | ▲11.8 | 11.8 |
| 資 金 繰 り | 0.0  | ▲11.8 | ▲5.9  | 5.9  |

### 【今期】

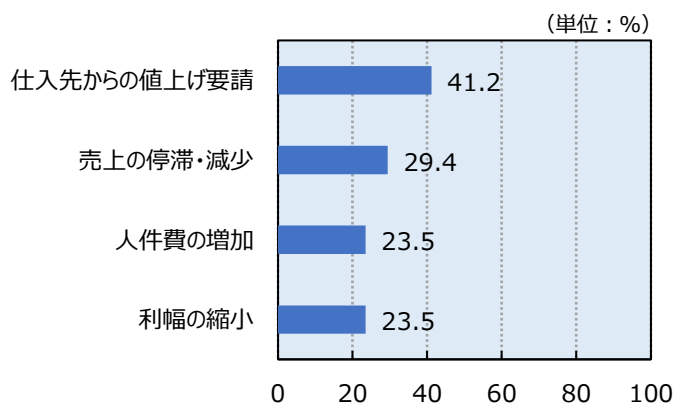
前期比で、収益D Iを除いて改善しました。前年同期比では、すべてのD Iが悪化しました。

### 【来期】

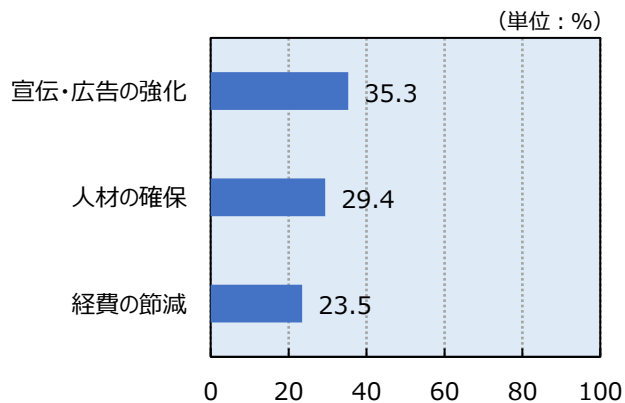
今期実績比で、すべてのD Iが改善の見通しとなりました。



## ■ 経営上の問題点 ■



## ■ 当面の重点経営施策 ■



### 【調査員のコメント】

○売上は増加しているが、仕入値も上昇しているため、利益増加が見込めない。（車両）

○肉体的負担が大きい工程について、新たな設備投資や DX に向けた取組みを模索している。（発酵食品）

# サービス業

## ■ 主要D Iの推移 ■

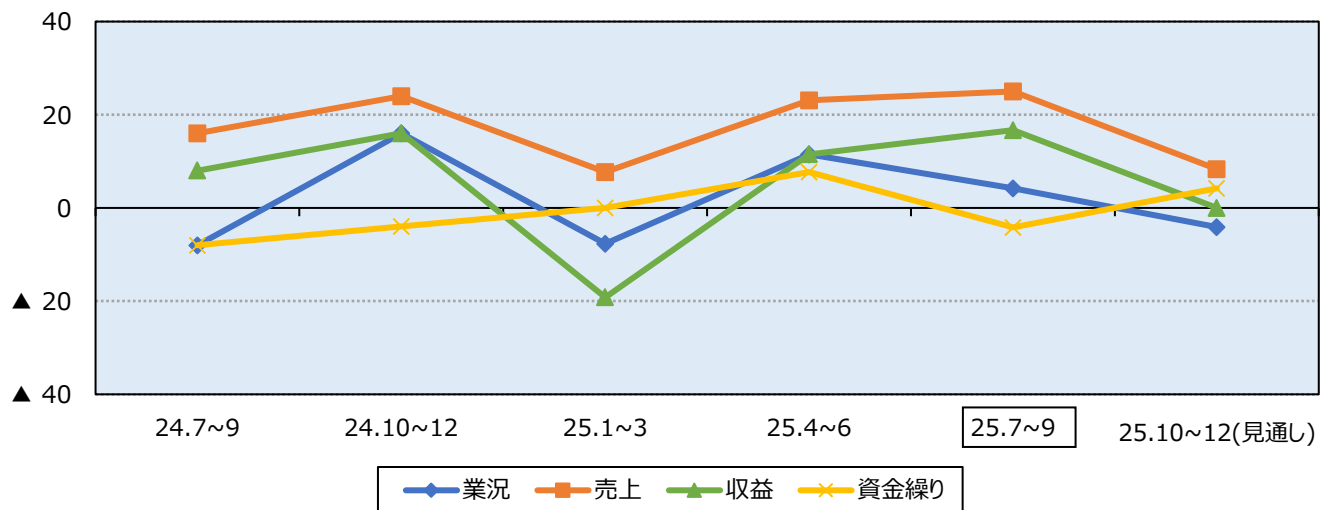
|         | 前年同期 | 前期   | 今期   | 来期   |
|---------|------|------|------|------|
| 業 況     | ▲8.0 | 11.5 | 4.2  | ▲4.1 |
| 売 上     | 16.0 | 23.1 | 25.0 | 8.3  |
| 収 益     | 8.0  | 11.5 | 16.7 | 0.0  |
| 資 金 繰 り | ▲8.0 | 7.7  | ▲4.2 | 4.2  |

### 【今期】

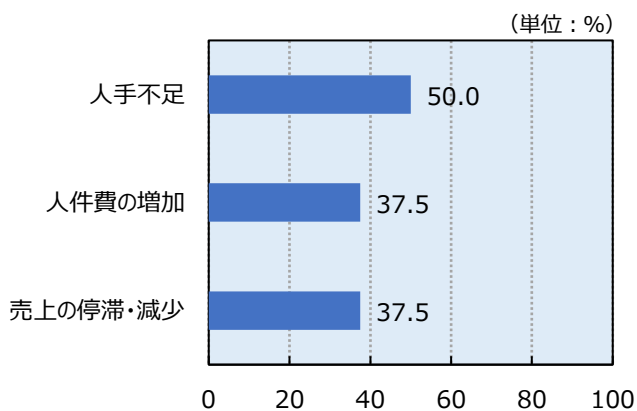
前期比で、業況D Iと資金繰りD Iが悪化、売上D Iと収益D Iが改善しました。前年同期比では、すべてのD Iが改善しました。

### 【来期】

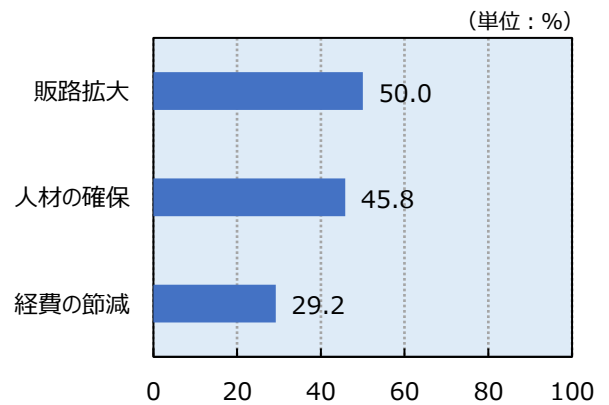
今期実績比で、資金繰りD Iを除いて悪化の見通しとなりました。



## ■ 経営上の問題点 ■



## ■ 当面の重点経営施策 ■



### 【調査員のコメント】

○今後は従業員の教育と販路拡大に注力する方針である。(運送)

○今以上の経費削減は困難なため、デジタル化による生産性向上を図っていく。(宿泊)

# 建設業

## ■ 主要D Iの推移 ■

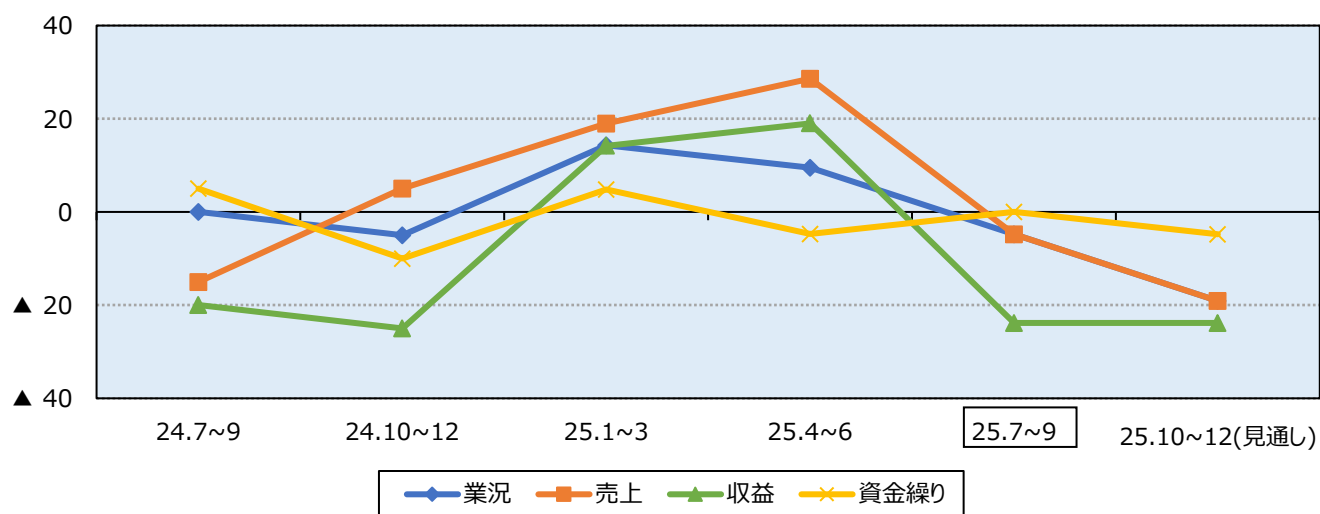
|         | 前年同期  | 前期   | 今期    | 来期    |
|---------|-------|------|-------|-------|
| 業 況     | 0.0   | 9.5  | ▲4.8  | ▲19.1 |
| 売 上     | ▲15.0 | 28.6 | ▲4.8  | ▲19.1 |
| 収 益     | ▲20.0 | 19.0 | ▲23.8 | ▲23.8 |
| 資 金 繰 り | 5.0   | ▲4.7 | 0.0   | ▲4.8  |

### 【今期】

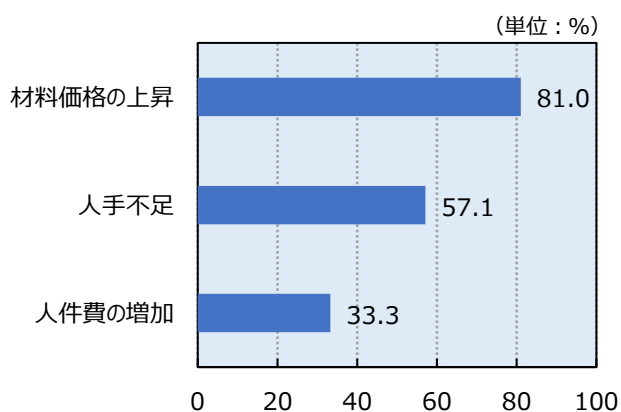
前期比で、資金繰りD Iを除いて悪化しました。前年同期比では、売上D Iを除いて悪化しました。

### 【来期】

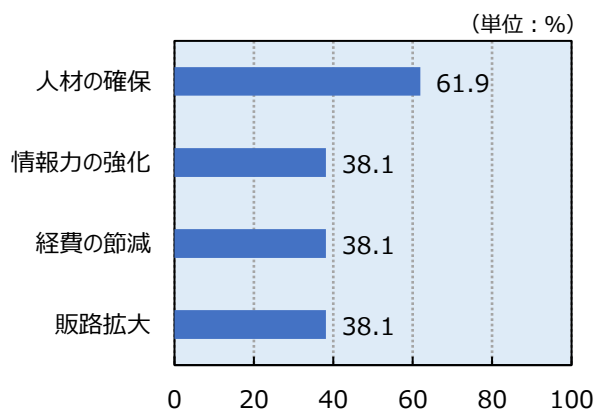
今期実績比で、収益D Iを除いて悪化の見通しとなりました。



## ■ 経営上の問題点 ■



## ■ 当面の重点経営施策 ■



## 【調査員のコメント】

○業務のデジタル化を図りつつ、販路拡大や技術力向上に注力していきたいと考えている。(総合建設)

○職人不足が課題であり、シニア人材の雇用や中途採用を検討している。(土木工事)

# 不動産業

## ■ 主要D Iの推移 ■

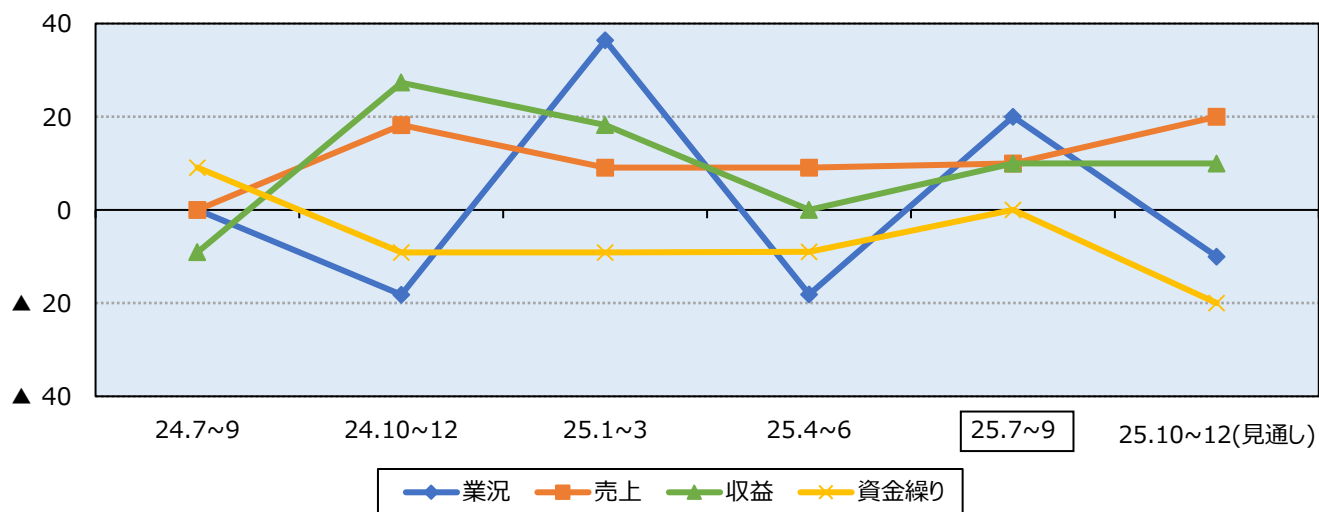
|         | 前年同期 | 前期    | 今期   | 来期    |
|---------|------|-------|------|-------|
| 業 況     | 0.0  | ▲18.1 | 20.0 | ▲10.0 |
| 売 上     | 0.0  | 9.1   | 10.0 | 20.0  |
| 収 益     | ▲9.1 | 0.0   | 10.0 | 10.0  |
| 資 金 繰 り | 9.1  | ▲9.0  | 0.0  | ▲20.0 |

### 【今期】

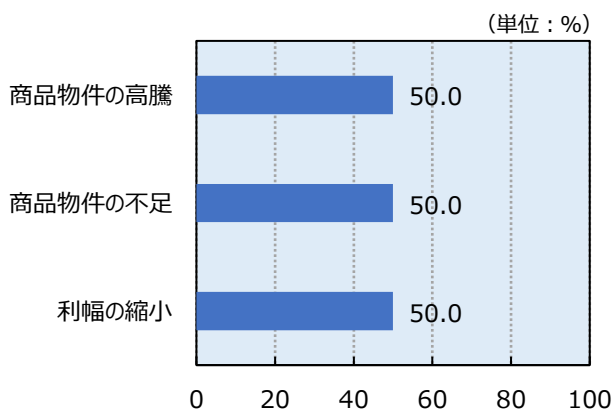
前期比で、すべてのD Iが改善しました。前年同期比では、資金繰りD Iを除いて改善しました。

### 【来期】

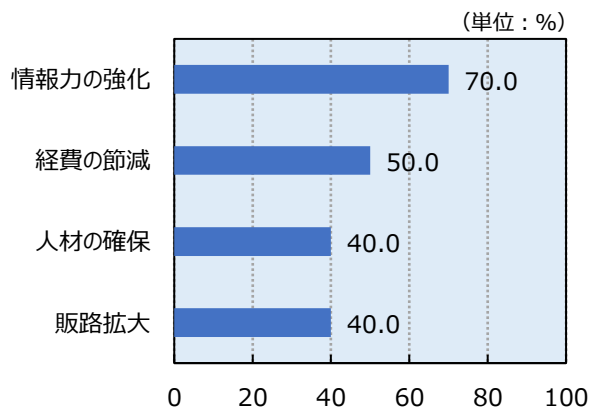
今期実績比で、業況D Iと資金繰りD Iが悪化、売上D Iが改善、収益D Iが横這いの見通しとなりました。



## ■ 経営上の問題点 ■



## ■ 当面の重点経営施策 ■



### 【調査員のコメント】

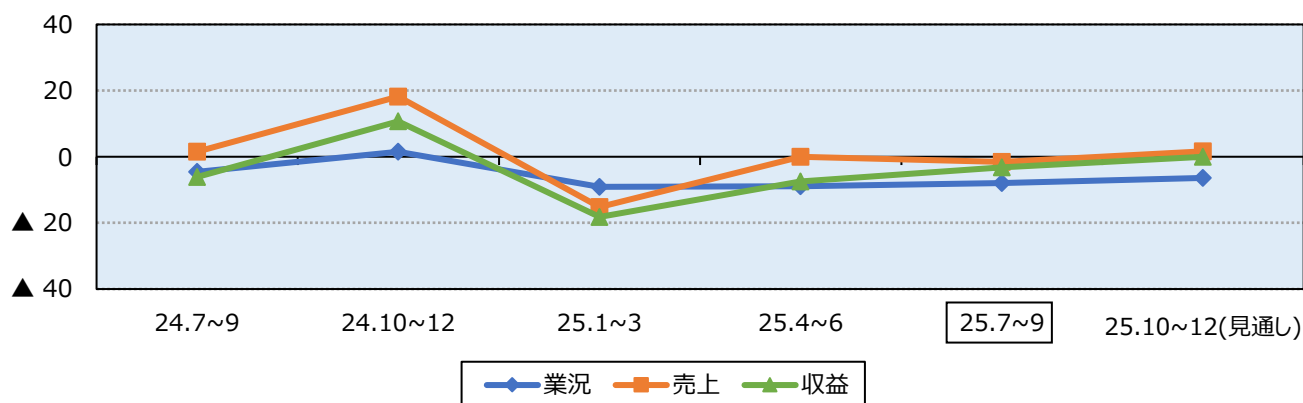
- 建築資材の高騰に伴う販売価格の見直しにより、住宅購入者の減少が危惧される。(新築住宅・リフォーム)
- 物価高騰等の影響により、新築工事の相談件数が減少傾向にある。(不動産売買・仲介)

## ＜地区別 D I の状況＞

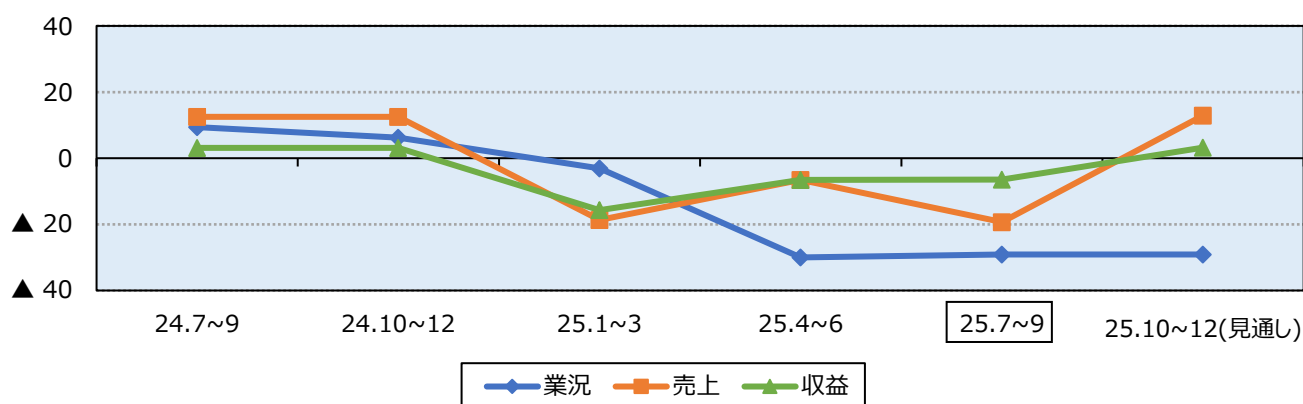
山梨県国中地区と東部富士五湖地区では、ともに前期比で業況 D I と収益 D I が改善し、売上 D I が悪化しました。相模原周辺地区では、業況 D I と収益 D I が悪化し、売上 D I が改善しました。前年同期比では、東部富士五湖地区ですべての D I が悪化しました。山梨県国中地区では業況 D I と売上 D I が悪化、相模原周辺地区では売上 D I と収益 D I が改善しました。

来期見通しについては、山梨県国中地区と相模原周辺地区で、すべての D I が今期実績比で改善の見通しとなりました。東部富士五湖地区では売上 D I と収益 D I が改善の見通しとなりました。

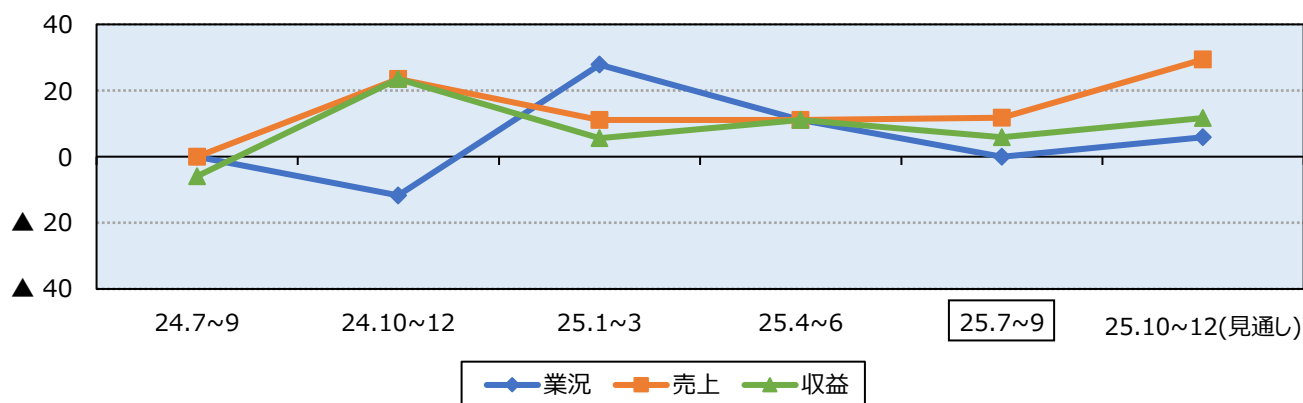
### 【 山梨県国中地区 D I の推移 】



### 【 東部富士五湖地区 D I の推移 】

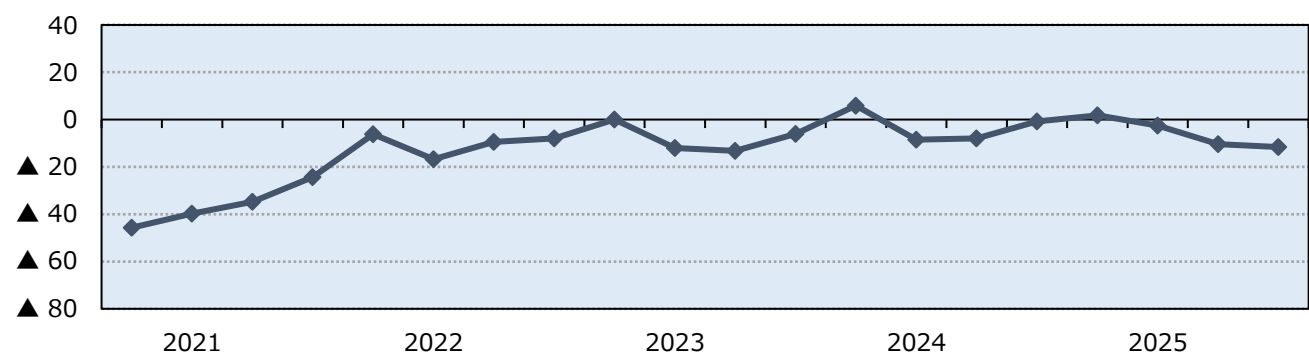


### 【 相模原周辺地区 D I の推移 】

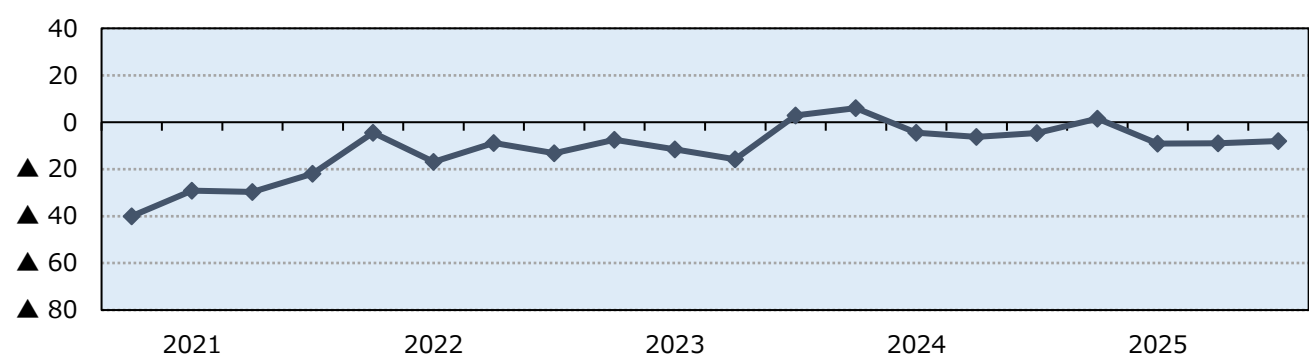


<業況D I の5年間の推移>

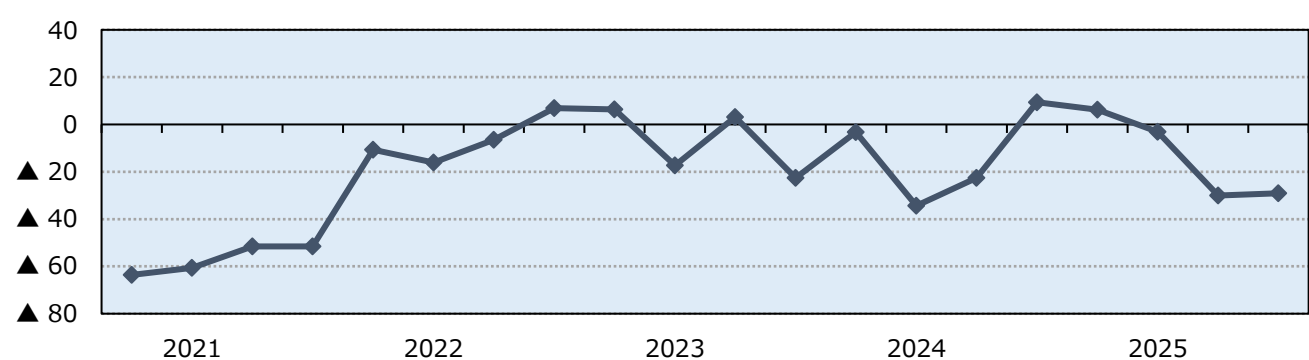
【 総合D I の推移 】



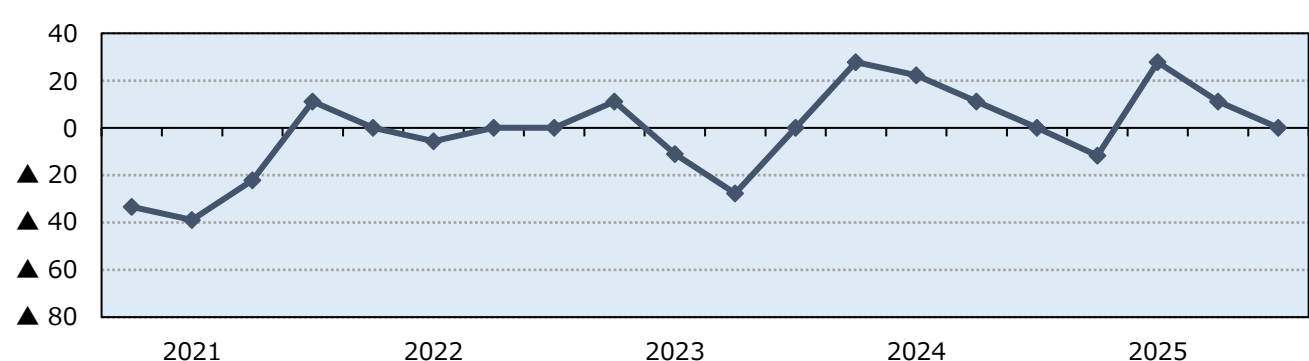
【 山梨県国中地区D I の推移 】



【 東部富士五湖地区D I の推移 】



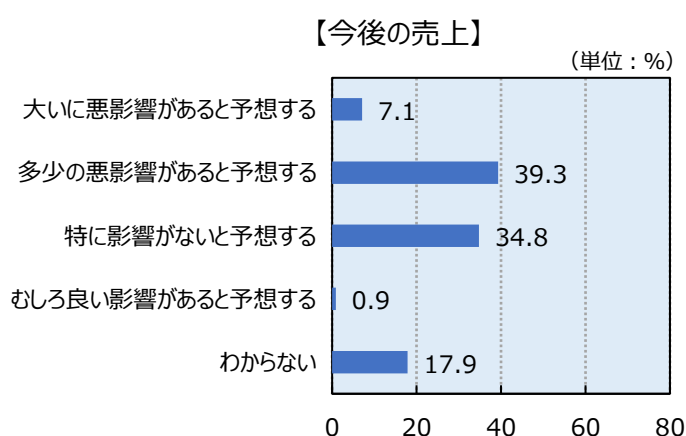
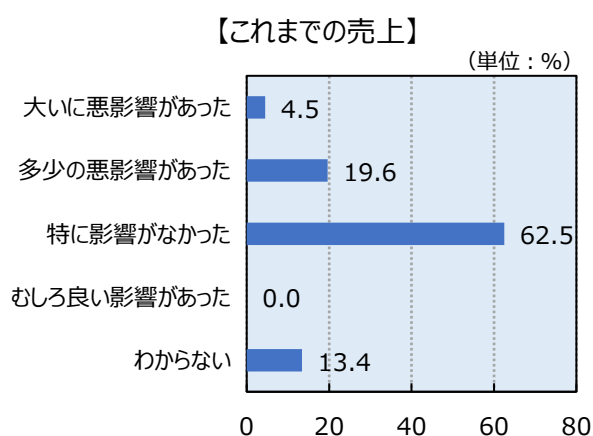
【 相模原周辺地区D I の推移 】



## 不透明感が増す経済社会情勢と中小企業経営 （回答企業：112 社）

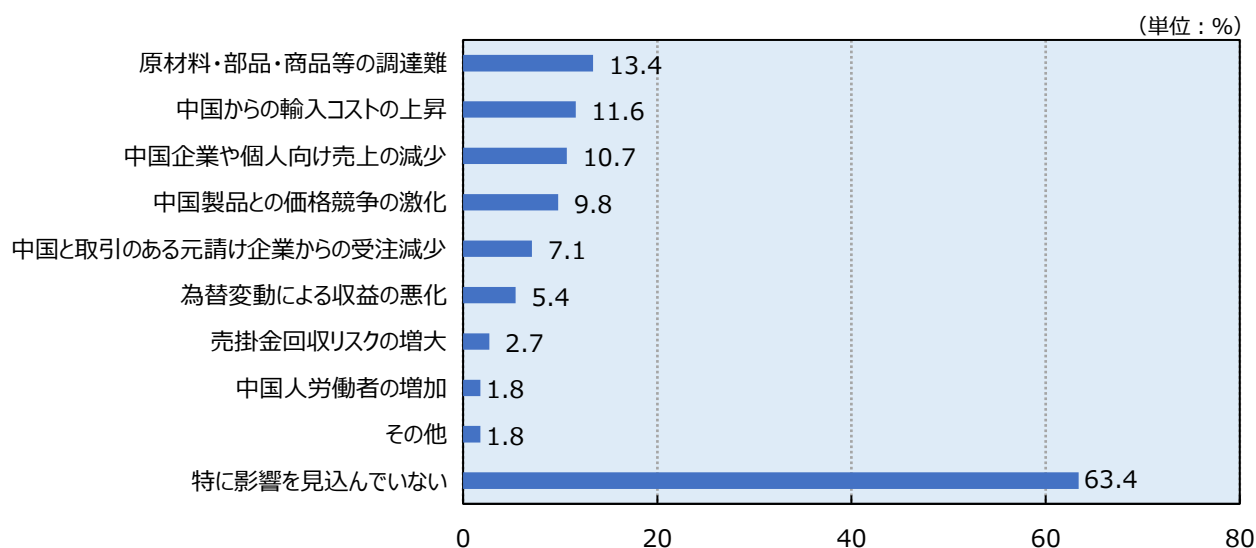
**問 1** トランプ大統領就任後、米国の経済社会政策（関税等）には不透明感が増しています。こうした動きを受けて、貴社の売上にこれまで影響がありましたか。また、今後の売上に影響があると予想しますか。

- これまでの売上への影響について、「特に影響がなかった」が62.5%と最も多く、次いで「多少の悪影響があった」が19.6%、「わからない」が13.4%、「大いに悪影響があった」が4.5%となりました。
- 今後の売上への影響について、「多少の悪影響があると予想する」が39.3%と最も多く、次いで「特に影響がないと予想する」が34.8%、「わからない」が17.9%、「大いに悪影響があると予想する」が7.1%となりました。



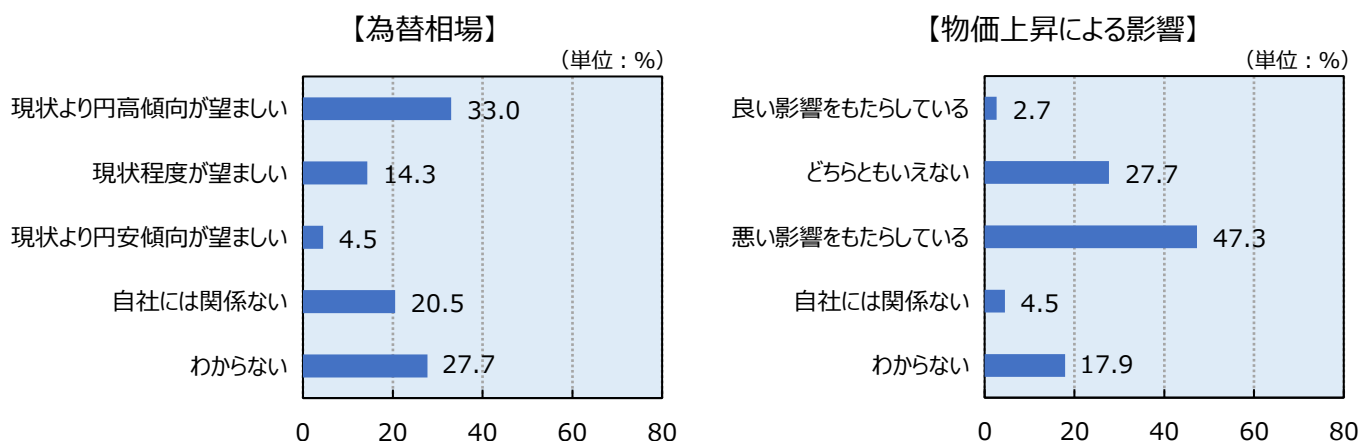
**問 2** 中国経済の減速が懸念されていますが、貴社に対して間接的な事象も含めてどのような影響が見込まれますか。（※複数回答可）

- 「特に影響を見込んでいない」が63.4%と最も多く、次いで「原材料・部品・商品等の調達難」が13.4%、「中国からの輸入コストの上昇」が11.6%、「中国企業や個人向け売上の減少」が10.7%となりました。



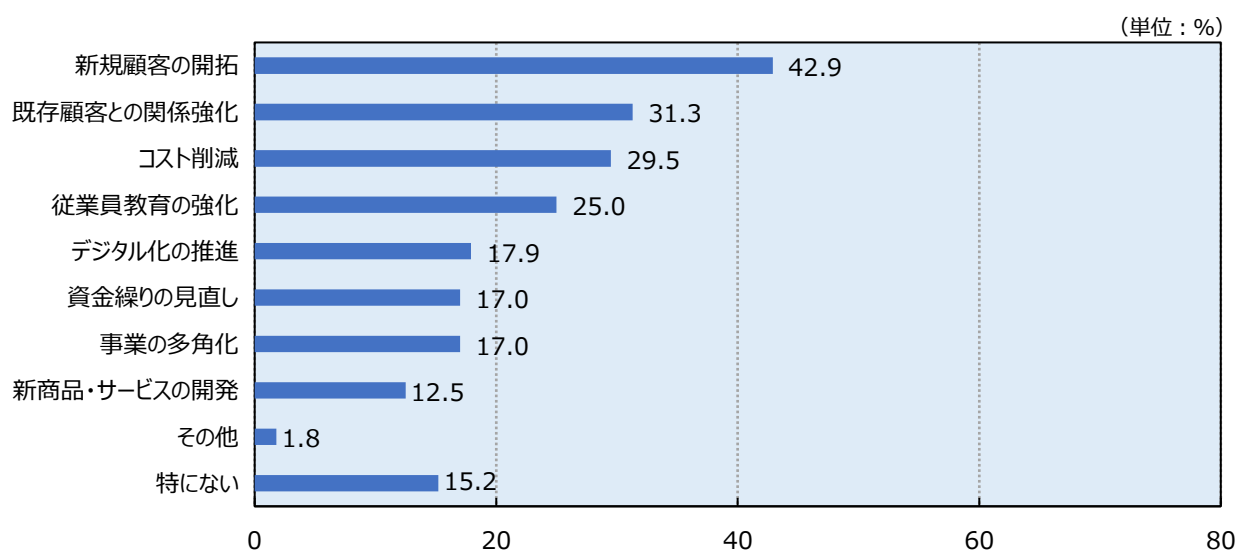
**問3 今後の外国為替相場（主に円ドル相場）の貴社にとって望ましい水準についてお答えください。  
また、コロナ禍以降の物価上昇傾向が貴社の経営にもたらす影響についてお答えください。**

- 為替相場について、「現状より円高傾向が望ましい」が33.0%と最も多く、次いで「わからない」が27.7%、「自社には関係ない」が20.5%、「現状程度が望ましい」が14.3%、となりました。
- 物価上昇による影響については、「悪い影響をもたらしている」が47.3%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が27.7%、「わからない」が17.9%となりました。



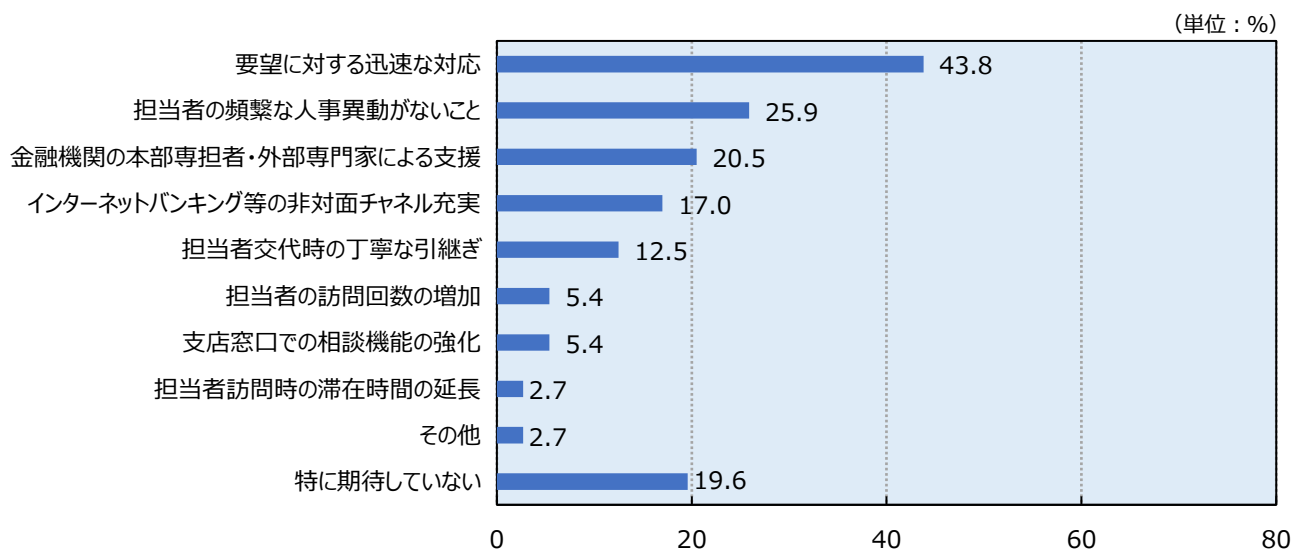
**問4 不透明感が増す経済社会情勢を受けて、経営面で今後見直したい取組みはありますか。  
(複数回答)**

- 「新規顧客の開拓」が42.9%と最も多く、次いで「既存顧客との関係強化」が31.3%、「コスト削減」が29.5%、「従業員教育の強化」が25.0%となりました。



**問5 不透明感が増す経済社会情勢を受けて、地域金融機関の体制面で望むことについてお答えください。（複数回答）**

- 「要望に対する迅速な対応」が43.8%と最も多く、「担当者の頻繁な人事異動がないこと」が25.9%、「金融機関の本部専担者・外部専門家による支援」が20.5、「インターネットバンキング等の非対面チャネル充実」が17.0%となりました。



## ★地域のイベント情報

### 中央市ふるさとまつり（開催日：11月3日）

⇒市制20周年記念事業として、市内の子どもたちによる「子どもみこし・仮装パレード」や著名人のゲストによるステージの他、グルメを中心とした屋台の出店や市内企業による製品のPR、特産品の販売等が予定されています。

会場：中央市玉穂ふるさとふれあい広場（中央市乙黒1-1）

交通アクセス：中央自動車道甲府南 IC より車で約15分、または JR 身延線東花輪駅から無料シャトルバス運行

### 甲州街道小原宿本陣祭（開催日：11月3日）

⇒小原宿本陣は神奈川県下で唯一残る本陣（参勤交代で大名が宿泊した宿）です。当日は国道20号沿道に甲州街道の町並みが再現され、地域団体による本陣太鼓、大名茶会などで賑わいます。

会場：小原宿周辺（相模原市緑区小原）

交通アクセス：中央自動車道相模湖 IC より車で約15分、または JR 相模湖駅前より循環バス運行

### 川中島合戦戦国絵巻（開催日：11月9日）

⇒笛吹市秋祭りのメインイベントとして、参加者が鎧を着用し、武田軍、上杉軍に分かれ合戦絵巻を繰り広げます。本年は武田信玄公役に神保悟志氏、上杉謙信公役に寺島進氏を迎え、参加者だけでなく観覧される方も一層楽しめる内容となっております。

会場：笛吹市市役所本館前 笛吹川河川敷（笛吹市石和町市部）

交通アクセス：中央自動車道一宮御坂 IC より車で約10分、または JR 石和温泉駅より徒歩で約20分

### 津久井湖城山イルミネーション（開催日：例年11月中旬～1月下旬）

⇒点灯初日には点灯式が開催され、ステージイベントやテント販売等が予定されています。

会場：津久井湖城山公園 花の苑地（相模原市緑区太井1274）

交通アクセス：JR または京王線橋本駅からバスで約20分

### 編集後記

このたびの中小企業景気動向調査については、お忙しい中、ご協力を賜り誠にありがとうございました。

今期のD I 調査では、業況D I と売上D I が前期（4月～6月）比で悪化し、業況D I は3期連続の悪化となりました。収益D I と資金繰りD I は同比で改善しましたが、いずれもマイナス値であり、依然として低い水準で推移しています。

特別調査では、「不透明感が増す経済社会情勢と中小企業経営」と題し調査しました。関税政策を含む米国の動向に関しては、これまでの売上への影響は少ないものの、今後については悪影響を懸念する声が多い結果となりました。また、今後見直したい取組みについては、「新規顧客の開拓」が最も多く、業種別調査においても、当面の重点経営施策として「販路拡大」を挙げる企業が以前より増加しています。

当金庫では、お客さまの資金繰り支援はもとより、本業支援にも積極的に取り組んでおります。経営に関する様々な相談を受け付けており、外部専門機関との連携による支援、補助金やマッチングに関する情報提供等により、お客さまの課題解決に注力しております。ぜひ、お近くの営業店や担当者までご相談ください。